

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	日本たばこ産業株式会社		
事業所の名称	日本たばこ産業株式会社 宮城支社		
事業所の所在地	宮城県仙台市若林区五橋3-4-2		
主たる事業	飲食料品卸売業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2020 年度	基準排出量	218.0 t-CO ₂	基準原単位	0.05342
		目標年度	2022 年度	目標排出量	200.0 t-CO ₂	目標原単位
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2021 年度	排出量	181.0 t-CO ₂	排出原単位	0.04435
			削減率	16.97 %	削減率	16.97 %
	排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度仙台ビルの主な居住空間である2F部のGHP4台を更新。それにより冷暖房効率が上がり、ガス、電気使用量とも大幅に削減できた。 ・テレワーク等の浸透とともに不要箇所のエアコン、照明等の使用を抑制でき節電に貢献できた。 				
	第2年度	2022 年度	排出量	127.0 t-CO ₂	排出原単位	0.03112
			削減率	41.74 %	削減率	41.74 %
	排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度社内の体制変更により、会議室等の運用が大幅に変更。結果としてエアコンの使用率が低下しガス、電気使用量とも大幅に削減できた。 ・また、不要な照明、エアコンのスイッチを切る、便座の蓋締め等、社員の節電意識の向上も見られる。 				
	第3年度	- 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
削減率			%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	50 %	目標年度	88 %
	第1年度	47 %	実施状況の説明等	<ul style="list-style-type: none"> ・主な居住部分である2F部分のGHPを更新し、燃費向上により、ガス使用量の大幅な削減がはかられた。 ・テレワークの浸透に伴い、不要な電気のスイッチオフがはかられて、電気使用量の削減が達成できた。
	第2年度	56 %	実施状況の説明等	<ul style="list-style-type: none"> ・体制変更に伴い、人数が減少。それに伴い会議室の使用が抑えられ、結果としてエアコンの使用が控えられた。 ・また、新型コロナウイルスが5類に移行したことから、建屋内のテレワークがなくなったこともエアコン使用抑制に寄与(少人数であってもエアコン稼働により使う電力は変わらない)。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	デマンド管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001に準拠したEMS及び小規模事業所に対するJTグリーンシステムの適用	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	2020年12月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同	実施済
	廃棄物削減対策の実施	プラスチックを含む、製品及び包装に使用する材料の適正利用と適正処理	実施済
	森林の保全・緑化の推進	手入れが不足している森を一定期間借り受けて森づくりを支援する「JTの森」を、全国9か所で展開。また、仙台駅ペDESTリアンデッキへの花の植栽を実施。	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコにこゴールドマイスターの認定	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	国際NGO、CDPを通じた環境等に関する情報の開示を行い、最高評価「Aリスト」に選定。また、気候変動分野におけるサプライヤー・エンゲージメント・リーダーにも選出。	実施済